

福岡市剣道連盟

【設立年月日】

1953（昭28）年 1月28日

【加盟年月日】

1962（昭37）年 1月25日

【歴代会長・理事長】

1953（昭28）年～	佐田 正人	池田 吞
1960（昭35）年～	黒木 房人	広光 英國
1970（昭45）年～	〃	吉武 六郎
1974（昭49）年～	〃	金子 誠
1980（昭55）年～	広光 秀國	村上 五一
1982（昭57）年～	吉武 六郎	深見 泰造
1985（昭60）年～	大江 健一	篠原 土榮
2004（平16）年～	稲員 大三郎	牧瀬 憲保
2021（令 3）年～	牧瀬 憲保	國友 秀三

【沿革】

人類の文化遺産である「武道」は世界の各地で「武術・武芸・修行道」など様々な姿・形・様式で継承されてきました。剣道は第2次世界大戦の後、一時中断されましたが、競技性・精神性・求道性などの特性を持つ運動文化として、その本質を見直されました。昭和24年第3回福岡国体開催にあたり佐田正人氏を会長に迎え、福岡市内の剣道有段者を中心に福岡市剣道クラブを発足させました。昭和28年1月全日本剣道連盟の規定に伴い東京都剣道連盟誕生に続き、福岡市剣道連盟が誕生し、昭和47年福岡市の政令指定都市移行と同時に剣道連盟は5行政区（東・博多・中央・南・西）に支部を設け市剣道連盟の下部組織としました。さらに平成2年西区分区により城南・早良支部が新設され、7支部を有する連盟へと発展し、その後、福岡県剣道連盟の組織細分化に伴い県内4支部が新設され、福岡市剣道連盟は福岡県剣道連盟福岡連合支部の傘下に入り、さらに福岡市の7支部が昇格することにより、福岡市剣道連盟は、7支部を傘下に置き昭和37年以来の福岡市体育協会加盟団体として福岡県剣道連盟から独立した団体として、会員有級・有段者

計約4,000人を有する全国屈指の剣道団体に成長し現在に至ります。

【本連盟の活動内容】

(1)少年剣道教室・少年道場の状況

福岡市の公民館活動の一環として各校区有志による剣道指導は現在各単位教室が剣道振興会を結成し父母中心に運営されています。約100団体・3,000人の児童（女子が約4割）が小学校・公民館で稽古に励んでいます。

(2)福岡市民総合スポーツ大会

○福岡市女子剣道交流大会

小学生～一般（個人戦・団体戦800名参加）



○福岡市剣道交流大会

小学生から60歳以上の1,000名の選手が参加する団体戦で、高齢者の部では全国高齢者大会の予選会も兼ねています。

○福岡市剣道祭

小学生から高齢者まで1,200名の参加があり、少年剣道指導に貢献されている77歳の剣士に功労者として表彰を行っています。

(3)福岡県民体育大会

青年の部・一般男子の部・青年女子の部・一般女子の部に各区から福岡市代表チームとして参加しています。

(4)全国高齢者福祉祭（ねんりんピック）

政令指定都市として60歳以上の剣士が参加し、2007（平19）年静岡大会では準優勝するなど、青少年育成とともに、高齢者福祉にも貢献しています。